

2017

ライブラリー

目 次

おすすめ本

私のおすすめ本	露口 洋介 教授… 2
東アジアを考える 3冊の本	村上 直樹 教授…5
私のおすすめ本	行武 憲史 准教授…8
私のおすすめ本	孫 徳峰 専任講師…11
私のおすすめ本	Jeffrie Leigh Butterfield 専任講師…13

エッセイ

本をめぐる3つの謎	坪内 浩 授 教 …15
日本大学経済学部教員著作リスト	17
2017年（前期）のお知らせ まとめ	24
平成29年度図書館ガイダンス（基礎研究）実施アンケート結果	25
コンテンツ紹介	28

おすすめ本

2017年度に着任された先生方のおすすめ本です。

ご紹介された本は図書館の蔵書となります。ぜひ手に取ってみてください。そしてぜひ読んでみてください。

私のおすすめ本

露 口 洋 介 教授
(金融論)

(1) 高度成長—日本を変えた六〇〇〇日 吉川洋著

中公文庫 2012年

河越正明 || 2018 || 指定図書 5F 指定図書

日本のケインジアンの代表的存在である吉川洋さん（東大名誉教授、現立正大学教授）の1997年の名著が、加筆修正されて2012年に文庫本としてよみがえった。

日本経済は1955年から1972年までのおおよそ6000日間、実質GNPが平均約10%で成長する高度成長を経験した。吉川さんは、高度成長前の日本の一般庶民の生活は江戸時代から続く古い伝統を色濃く残していたが、高度成長によって、日本人の生活様式は根本的に変化したと指摘する。例えばそれまでたみの上でチャブ台で食事することが一般的だったのが、団地の普及などにより、ダイニングキッチンでテーブルで食事する様式に変化した。このような高度成長は農村から都市への人口移動と世帯数の増加、そして三種の神器とよばれる、洗濯機、冷蔵庫、テレビなどの耐久消費財の爆発的な普及による需要の増加を基底とした旺盛な設備投資によってもたらされた。そして、高度成長の終焉は、一般に言われているように、73年の第一次オイルショックによる原油価格の急騰が原因ではなく、人口移動の減速による世帯数増加の停滞と耐久消費財の普及の飽和によって需要の伸びにブレーキがかかったためであるとする非常に説得力のある指摘を行っている。文庫版で加筆された中国経済に関する記述では、中国では耐久消費財に対する需要ははまだ飽和しておらず、成長は続くと予測されており、これは本書出版の2012年時点においてまさに正しい予測であった。

吉川さんは最近の著作である『デフレーション』（日本経済新聞出版社）や『人口と日本経済』（中公新書）において、日本経済にとって人口の減少は大きな問題ではなく、新しいモノやサービスを生み出す需要創出型のイノベーションコ

そが重要であると主張している。本書の分析はこうした主張のバックボーンをなすものといえる。熟読することをお勧めしたい。

(2) 日本銀行 翁邦雄著

ちくま新書 2013年

338.41Ⅱ052 5F 文庫・新書コーナー

著者の翁邦雄さんは、日本銀行で金融研究所長を務め、その後、京都大学公共政策大学院教授に転じた。日銀在勤中から日銀エコノミストとして著名な方である。私の日銀時代の先輩であり、若いころに金融研究所で一緒に働かせていただいた経験がある。翁さんの著作には、最新刊の『金利と経済』（ダイヤモンド社、2017年）を含め数多くのおすすめ本があるが、今回は比較的学生にも親しみやすい本書を取り上げてみたい。

本書は、題名が示すとおり、日本銀行について包括的に述べた入門書という位置づけの本である。しかしその内容は入門書の範囲を超えている。第3章では、日本銀行の歴史について述べられており、第4章では日本銀行の組織と業務について幅広く説明されている。そして第5章から最後の第10章までは日本銀行が行っている金融政策のこれまでの経緯と、本書執筆時に黒田総裁によって導入された異次元の金融緩和政策の意味とその効果、問題点について検討が行われている。なぜ日本銀行の大規模緩和にもかかわらず物価が充分上昇しないのかという疑問については、アメリカの経済学者クルーグマンの「ベビーシッター協同組合の寓話」を用いた説明が紹介されている。また、サージェントとウォレスの論文「マネタリストのある不快な算術」を用いて、中長期的な物価安定の鍵を握る最大の要因は財政の持続可能性であることが主張されている。著者の博学と深い洞察力によって、現在につながる日本の金融政策の課題とあるべき対応策が非常にわかりやすく説明されている。

また、私にとっては第2章で述べられている主要中央銀行、例えば日本やドイツの中央銀行とアメリカの中央銀行の過去のトラウマの違いが、その金融政策判断に大きな違いをもたらしているという指摘は新鮮であった。

日本銀行全般について理解するためにも、現在の日本の金融政策について理解し日本の将来を考えるためにも必読の書である。

(3) 物理数学の直観的方法 長沼伸一郎著

講談社ブルーバックス 2011年

421.5||N16 5F

長沼伸一郎さんの『経済数学の直観的方法—マクロ経済学編』と『経済学の直観的方法—確率・統計編』のシリーズの最初の一冊である。私には、これらの本の記載が正しいかどうかを判断する能力はないが、内容は非常に興味深い。

まず、『マクロ経済学編』では、経済学と物理数学の関係が示される。例えば、アダムスミス以来の「神の見えざる手」による市場の自動均衡の発想が、天体力学の、特に惑星の軌道が自動的に安定するメカニズムを手本に作られたと述べられている。そして、現代マクロ経済学の動的理論も、ある変数とその変化率という2つの変数を扱う工学的な最適制御理論を応用したものであるとされる。

そこから読者は『物理数学の直観的方法』の「やや長めの後記」に導かれる。そこでは、天体力学で解けない問題として「三体問題」というものを取り上げられている。太陽と地球などという2つの天体の未来の位置関係を計算することは可能だが、3つ以上の天体の相互の影響を計算して位置関係を求める「三体問題」は数学的に計算不可能であることが指摘される。幸い天体力学では太陽の質量があまりに大きいので太陽とそれぞれの惑星の2つの天体の動きのみを考えればよく、「三対問題」は回避できた。

そして話は経済学に及び、個人の利益の最大化の総和が全体の利益の最大化に等しいという経済学の思想は、このような天体力学の状況を反映した結果であると主張される。実際の経済社会では個人がその利益のために良かれと思ってやったことが意外な波及効果でその個人に跳ね返ってくることはよくあるが、そうした「複雑系」の状況は「三体問題」と同じく数学的に計算不能であり、従って経済学でも回避される。要するに経済学は物理数学が発展する中で計算可能なことだけを扱ってきたということである。このような主張には疑問も反論もあろう。しかし、現在の経済学の背後にある思想や、経済学で分析できること、できないことについて改めて考えさせてくれる本である。一読の価値はあろう。

東アジアを考える 3冊の本

村上直樹 教授
(中国経済論)

(1) 漢字がつくった東アジア 石川九楊著

筑摩書房 2007年
821.2ⅡI76 5F

本書によると東アジア（日本、中国、韓国・朝鮮、台湾、越南が含まれます）、単なる地理的概念ではなく、「漢字文明圏」というかたちで括ることのできる歴史的、地理的、文化的共通性を持つ地域を指します。言葉から離れられない人間の歴史を、とりわけ、言語に対する文字の関係から分類して世界史を考えなおすのが本書の目的とされています。

ともすると誤解されがちですが、日本や朝鮮などに最初から独特の文化があったわけではありません。まず、秦（始皇帝の時代）・漢による文明化（文字によって明るみに出されること）を経て共通の基盤に立って政治的、思想的に結び合わされた後、その共通な基盤に対する角度の違い、つまり、その枠組みに溶け込むのか、それとも反発するのか、その対応の違いによって、中国、朝鮮あるいは日本など少しずつ地域的特性、つまり独自の文化が形成されていったのです。そして、東アジアを形成した共通の基盤が漢語（＝漢字）に他なりません。ここで、漢語とは書き言葉主体の言語であって、漢字による全国統一がなされた当時、中国大陸の各地の民衆が使っていたさまざまな方言、話し言葉とは違います。その意味で中国自体もあらかじめ存在したわけではなく、漢語によって作り出された地域と言えます。そして、中国から完全に独立した日本独自の文化がつくられるのは、平仮名の誕生以降です。

現代書道の奇才にして巨匠である著者は本書を通じて以上のような東アジア形成史観を極めて説得的に展開しています。そして、こうした見方は、沖縄の米軍基地問題あるいは朝鮮半島情勢、さらにはアイヌ民族の方々との友好関係といった、現在、皆さん一人一人が直面する難題を解くためにも有効であることが本書を読むとわかります。

(2) 中国化する日本 日中「文明の衝突」一千年史 與那覇潤 著
文藝春秋社 2011年
210.1822ⅡY82 5F

本書の表題にいう「中国化」とは、現実の日本と中国のあいだの力関係の変化を指すのではなく、「日本社会のあり方が中国社会のあり方に似てくること」を意味しています。近年、中国史の有力な考え方によりますと、現在に至る中国社会の性格が固まるのは宋朝（960年～1279年）ということになります。そして宋朝中国＝中華文明の本質は「可能な限り固定した集団を作らず、資本や人員の流動性を最大限に高める一方で、普遍主義的な理念に則った政治の道德化と、行政権力の一元化によって、システムの暴走をコントロールしようとする社会」というものです。

ちょっと難しい表現ですが、その具体的な内容については本書を読んでいただくとして、重要なのは、対する日本の本質は江戸時代に確立され、それは、上述の宋朝中国の本質と真逆の性格を持っているということです。そして、本書は「中国化」と「江戸時代化」のどちらの要素が強いか、という観点から日本史はもとより中国史さらにはヨーロッパ史を理解しようという試みです。その結果、著者は現在世界全体が「中国化」を加速させているという認識に達し、その中で日本は如何にあるべきかを問うています。

本書を読み進めるため予備として必要なのは高校レベルの日本史の知識です。大学での講義がもとになっているだけに軽妙な書きっぷりが印象的です。ぜひ本書を読んで、書かれた当時（2011年）と現在（2017年後半）とでは日中関係、世界情勢などがまた大きく変化している中で、本書の主張がより説得力を増していることを確認してみてください。

(3) 経済大国化の軋みとインパクト (超大国・中国のゆくえ第4巻)

丸川知雄・梶谷懐著

東京大学出版会 2015年

302.22||Ma54 5F

トランプ政権の誕生、ブレグジットなど、欧米社会がますます混迷を深める中、超大国としての中国に対する関心がいやが上にも高まっています。現代中国を的確に理解するためには、その実態を多面的・総合的に捉えることが何より重要です。本書はそうした趣旨で編まれた全5巻のシリーズ『超大国・中国のゆくえ』の中の1冊で、中国経済の光と影を明らかにしています。

現代中国経済研究の分野でさまざまなトピックスについて数々の貴重な研究成果を産み出し続けているお二人による著作ですから、中国経済の細部を知り、かつそれを総合的に理解するという趣旨に最も適していると言えるでしょう。計量経済学に基づいた精緻な実証分析が分かり易く紹介されているほか、生のデータをつぶさに検討し、そこから貴重な知見が導かれている点でも勉強になります。

具体的な軋み(影の部分)としては、たとえば、中国経済が投資過剰状態、すなわち投資収益率の低下にも関わらず資本蓄積が進んでいる状態に陥っていることがあげられています。一方、技術発展の具体的成果として家庭用豆乳機、電動自動車、アニメ制作技術などがあり、こうした民間主体の動きがやがて中国経済の新たなインパクト(光の部分)につながるであろうと予測されています。

2015年6月には中国の外相が「日本は中国の復活に対して、心の準備が十分できていない」といった趣旨の発言をし、そのことが日本国内でもひとしきり話題となりました。中国経済がこれまでの超高度成長から一息ついて新たな段階に向かおうとしている今日、皆さん一人一人の「心の準備」のためにも、ぜひ、本書を読まれることをお勧めします。

私のおすすめ本

行 武 憲 史 准教授
(計量経済学)

(1) 統計学が最強の学問である 西内啓著

ダイヤモンド社 2013年
350.1ⅡN86 5F

ビッグデータという言葉が頻りに目にするようになり、インターネットの発展と共に、データ活用は飛躍的發展段階にはいつています。それとともに、データ分析に必要な統計学的手法は、アカデミックな世界だけでなく、実際の個別市場の需要予測、スポーツ・娯楽等の分野、政策決定から回轉ずし、ネットショッピングまで、ありとあらゆる局面で活用されています。本書の冒頭の一説でも、「今、私たちは読み書きと同じレベルで、統計学的手法を求められている」と述べられているように、統計学に基づいて判断を求められる場面はこれからますます増えていくでしょう。

こうした中、ひとつ統計学でも勉強してみようかと、興味関心を抱いた皆さんが、統計学の入門書を手にとると、多くの場合、最初からたくさんの数式に出迎えます。数式にアレルギーがある人はここで挫折し、結局統計学のおもしろさに気づけないままになってしまうかもしれません。本書は、そういった人にも優しい新しいタイプの入門書です。本書は、ほとんど数式を使わずに構成されており、前半部で統計学の概念、つまり統計学で何ができるのかについてわかりやすく説明したのち、中盤では、統計学が最強である根拠となる、ランダム化実験を通じて様々な場面における原因と結果をはっきり示せることについてまとめられます。後半部は、様々な学問分野における統計学の位置づけが紹介されておりその対比が面白いのです。

もちろん、この一冊を読んでも、アカデミックな論文やデータサイエンティストが使う統計分析ができるようにはなりません、そこまでの知識が必要な人にとっても、いいかげんなデータに騙されない統計リテラシーを身につけるためには必読の書です。

もうちょっとだけ使える統計知識が必要という人には、同じ著者の続編である「統計学が最強の学問である[実践編]」350.1ⅡN86 5F、「統計学が最強の学問である[ビジネス編]」350.1ⅡN86 5Fもお勧めです。

(2) ファスト&スロー 上下巻 ダニエル・カーネマン著 村井章子訳

ハヤカワ文庫 2014年

141.5||Ka19||1~2 5F 文庫・新書コーナー

皆さんが現在勉強している標準的な経済学モデルでは、合理的経済人の仮定、すなわち経済主体は安定して一貫した選好を持ち、それに基づいて合理的な意思決定をする、という仮定が置かれています。これに対して、合理的経済人の仮定だけでは説明不能な現象について解明しよう、というのが行動経済学と呼ばれる分野です。本書は、認知心理学者にしてノーベル経済学賞（2004年）を受賞したダニエル・カーネマンが、行動経済学における長年の研究成果、人々が合理的な判断エラーに陥るパターンや理由を、一般の読者のためにわかりやすくまとめたものです。

本書で論じられているトピックスの大半は、合理的経済人ではない我々が持つ直観がもたらす認知バイアスに関連するものです。ここでのバイアスとは、人間が何かを判断し選択するときに繰り返しかつ系統的に犯される誤りをさします。

カーネマンは、判断と選択の際に働く2つのシステムについて導入しています。それが、本書のタイトルにもなっている「ファスト&スロー」です。ファストは、システム1と呼ばれるもので自動的かつ直観的な速い思考を担当します。一方で、スローの方は、システム2と呼ばれ、努力を要し意識的にゆっくり考えるシステムです。努力を要する分、システム2は怠けがちになります。システム2だけだと、速度が遅く非常に疲れてしまいますが、一方でシステム1だけだと慎重で複雑な行為は行えなくなるため、人は2つのシステムの両方を使って意思決定を行います。ただ、そのシステムが完璧でないことが、様々な系統的な認知バイアスを生みます。

本書では、様々なケースにおける系統的なエラーとそのエラーに対する対処法が紹介されています。人生はあらゆる場面で、意思決定を迫られるものです。そうした時、本書の内容をちょっと思い出すと、非合理的なエラーに陥らずに済むかもしれません。

(3) 関東大震災 吉村昭著

文春文庫 2004年

210.69ⅡY91 5F 文庫・新書コーナー

本書は、1923年9月1日正午前に起きた関東大震災について、1973年に出版されたノンフィクション作品です。関東大震災という1つの出来事を通じて、大都市における地震リスクやそれに付随するパニックについて考えさせられる一冊です。

本書は、地震での建物の倒壊や火災などによる直接的な被害の状況から、地震後の混乱の様子、復興と大きく3つのパートに分けられます。特に印象に残るのが、3万8000人もの犠牲者を出した被服廠跡での惨事です。公園や学校用地として空き地になっていた陸軍省被服廠跡は、地震後多くの人々が家財道具を持ち出して避難していました。しかし、次第に火事が迫り、人々が持つ家財道具に引火し、避難所全体が火の地獄と化しました。

また、震災後は、富士山の噴火や津波の襲来など、さまざまな流言やデマが広まりました。なかでも朝鮮人襲撃に関する流言に対する人々の反応は凄まじく、朝鮮人や朝鮮人と間違われた日本人が、民衆が結成した自警団の犠牲となりました。

江戸時代には、逃げるときに家財道具を持ち出す行為は、逃げ道を塞ぎ犠牲を大きくするため、これを禁止する布告がありました。吉村氏は、大惨事になった要因として、こうした過去の地震への教訓が生かされなかったことが犠牲を大きくしたと指摘しています。こうした教訓は現在にも通じます。時折読み返して、こうした教訓を思い出すためにも良い本だと思います。

私のおすすめ本

孫 徳 峰 専任講師
(経営学)

(1) 戦略的思考とは何か—エール大学式「ゲーム理論」の発想法

A・ディキシット, B・ネイルバフ 著 菅野隆, 嶋津祐一 訳
TBS ブリタニカ 1991年
335.9ⅡD79 B2F

戦略的思考とは、ゲーム理論をベースとし、こちらがこのような言動をとると、相手がこちらの言動をとるのを承知したうえで、さらにその上に行く技である。

この戦略的思考は、我々の現実の社会生活の中で知らず知らずのうちによく活用されています。大学生は3年生の後期から理想な職場に就職するための戦略を練る必要がある。スポーツの場合コーチは試合で勝つための戦略が必要となる。ビジネスマンや企業も競争の中で勝ち抜くための戦略が必要である。このように様々な状況の中で戦略的思考は必要となっているが、常に戦略的思考に基づいて行動するのは実に難しいことである。

戦略的な思考の基礎は、いくつかの法則からなっており、それらの法則を身に着けることで、論理的な思考能力を高められるのではないかと思います。ゲーム理論と聞いた瞬間、難しいイメージを持たれるかもしれないが、この本は難しい言葉は少なく、ビジネス・映画・スポーツ・国際政治などの実例とケースを用い、多くの重要な考え方をわかりやすく解説しています。

(2) 戦略的思考をどう実践するか ―エール大学式「ゲーム理論」の活用法
アビナッシュ・ディキシット, バリー・ネイルバフ著
嶋津祐一, 池村千秋訳
阪急コミュニケーションズ 2010年
331.19ⅡD79 5F

この本は、上記の『戦略的思考とは何か』の応用版で、『戦略的思考とは何か』の中で取り上げられている基本的な法則と考え方をどのように実践するのか、その技を活用する手ほどきをすることが目的となります。

戦略的思考の例をいくつか紹介しながら、実社会のさまざまな場面で戦略上の問題点がどのように起こっているのかを示し、有効な戦略とそうでない戦略を紹介しています。

『戦略的思考とは何か』と合わせて読むことで、戦略的思考への理解がさらに深まると思います。

私のおすすめ本

Jeffrie Leigh Butterfield 専任講師
(英語)

- (1) The Origin of Species, 1876 by Charles Robert Darwin
種の起原 (原書第6版)

467||D42||16 5F

ダーウィン氏は約5年間の調査で収集したデータを下にこの本を執筆し、そのデータは進化論の科学的根拠となりました。生物は、環境に適応するために変化すると論じています。彼の進化論の基本的な概念は生存競争 (struggle for existence) です。生存競争は、個体は子孫を残すために環境に適応するが、適応できない個体は滅びていくと主張しています。

ダーウィン氏は多くの地域を訪問し、様々な生物を観察し、生物は変化するという結論に至りました。彼の研究の中でもっとも議論を呼んだのは、猿は人間の祖先であるという理論です。彼の発見はそれまでの考え方をひっくり返すものだったので、この本を出版する事で多くの人に批判されると分かった上でしたが、この本を出版しました。

この本の面白いところは、この本が出版された1859年まで徹底的に証明されなかったことを、ダーウィン氏は証明することができたという事です。また、彼の研究結果を元に多くの研究者が研究を始め、様々な分野が広がり、世界や生物をより深く理解できるようになりました。徐々に多くの科学者や一般人は、ダーウィン氏の理論を受け入れるようになりました。この本は最も影響力のある本の一つであり、ダーウィン氏の好奇心や研究への情熱が伝わってきます。

- (2) The Autobiography of Martin Luther King, Jr
マーティン・ルーサー・キング自伝

289.3||Ki43 5F

キング氏は1950年の半ばぐらいから彼が暗殺された1968年まで公民権運動のリーダーとして活動していました。キング氏はマハトマガンジー氏の非暴力の抵抗という方法でアメリカの黒人に対しての差別やアメリカ、特にアメリカの南部で起こっている人種的不平等がなくなるように抗議をしていました。この本でキング氏やキング氏と一緒に抗議をしていた一般市民はどれだけ苦労していたのか、どれだけ黒人が残酷に扱われていたのか、また、当時アメリカの

人種差別はどんなにひどかったのか、が分かります。

キング氏は黒人が白人と同じように扱われるように黒人解放運動を展開し、抗議をやめないと殺すと脅されました。しかし、命が狙われてもキング氏は自分の信念を貫き、抗議しつづけました。キング氏やキング氏と一緒に抗議していた一般市民の努力や粘り強さのお蔭で公民権法が可決され、アメリカで徐々に人種関係が改善されました。キング氏は非暴力の抵抗で、黒人は白人と平等の権利を与えられる活動が評価されたので、ノーベル平和賞を受賞しました。

この本を読み始めたら、止める事ができず、気が付いたら 12 時間読んでいました。この本では、問題がどんなに大きくても頑張れば何でもできるということが伝わっています。人間の強さ、粘り強さやキング氏、また一緒に戦っていた一般市民の勇気、情熱や信念に感動しました。

(3) The Last Lecture by Landy Paush, Jeffrey Zaslow

最後の授業 ぼくの命があるうちに

936ⅡP28 5F 文庫・新書コーナー

パウシュ氏はカーネギーメロン大学の教授でした。46 歳でパウシュ氏は癌になり、余命 6 ヶ月と宣告されました。パウシュ氏は奥さんとの間に 3 人の小さい子供がいます。「Really Achieving Your Childhood Dreams」、つまり子供の頃の夢を実現させるという最後の講義で人生とは何か、どう生きればいいのか、何が大切なのか、ということについて講義するために自分の人生を振り返って準備を始めます。しかし、最後の講義は学生のためだけではなく、自分の子供のために自分の想いを伝える事にしました。人生に関して教えたこと、教えるべきことは何かを思い悩みました。

パウシュ氏は自分の人生の最後の 6 ヶ月をどう過ごすのか、とも悩んでいました。これを考えることにより、一瞬一瞬を大事にすることの大切さに気づかされました。また、大きい夢を持つことが大切だと語っています。人生の中で大変なことがあり、失敗することもあります、前向きでいて諦めないことも大切だと説明しています。しかし、何があっても夢を追いかけて頑張ればいいと主張しています。

基本的に人は毎日を生かすべきだと分かっていますが、ほとんどの人は忙しくなるとそれを忘れてしまいがちです。この本を読むことで改めて自分にとって何が大切なのか、どう生きればいいのか、一瞬一瞬を大事にしているのか、それとも時間を無駄にしているのか、ということを考えさせられます。学生の皆さんも様々な考えや教えに触れて、自分自身の夢を叶えるヒントを掴んで欲しいと思います。

エッセイ
本をめぐる3つの謎

坪内浩教授
(アメリカ経済論)

家の中は本であふれています。部屋は3つあるのですが、そのうちの一部屋半が占拠されています。

本を最もよく読んだのは高校生から大学生にかけての時期。通学時間が長く、電車で揺られている間は読書くらいしかすることがありませんでした。当時よく読んでいたのは小説です。新聞に、太宰治の娘で作家の津島佑子等の「若いときに読んでおく本」という特集があって、そこで紹介されていた本を片っ端から読んでいました。聞いたことのないタイトルばかりでとても新鮮でした。日本の作家では、大江健三郎『万延元年のフットボール』、小島信夫『抱擁家族』、小林恭二『ゼウスガーデン衰亡史』、筒井康隆『脱走と追跡のサンバ』、山尾悠子『夢の棲む街』、外国の作家では、アーサー・C・クラーク『幼年期の終わり』、ゴールディング『蠅の王』、レイ・ブラッドベリ『火星年代記』、『10月はたそがれの国』、マッカーズ『心は孤独な狩人』など。それぞれ独特な「世界観」をもっていて、読んでいる間は現実を忘れて別の時間を生きさせてくれるようなものが多かったように思います。それらは今でも本棚を飾っています、というか、今の家に引っ越して来てから16年間段ボールの中で眠ったままになっています。ここで謎の1。引っ越す前にはきちんと本棚に収まっていた本が、引っ越すと本棚に収まらなくなるのはなぜなのでしょう？

村上春樹の短編の中に『プールサイド』という小説があります。人生の折り返し地点を過ぎていることを自覚せずに生きている人が多い中で、それを自覚して生きる「ちょっと風変わりな」主人公についての物語です。確かに、人生は思いのほか短く膨大な本を読み返す機会はずまいと思われまます。であれば、必要な本は図書館で借りて読めばいいのに、なぜ自宅に置いておくのでしょうか？これが謎の2です。

在米日本大使館に勤めていた時の同僚で、一念発起して蔵書を整理した人がいました。とても合理的な仕事をする人なのですが、帰国の際、それまで使っていた家電製品や生活用品を必要な人に安く譲る「ガレージセール」で、彼は蔵書をただ同然で処分していました。私にはとても真似できません。

理由はいろいろあります。以前に読んだ本の内容を確認したい衝動に駆られることが時々あるのです。地元の公立図書館では蔵書が貧弱ですし、ちょっと確認するだけのためにわざわざ中央図書館に出かけるのは面倒です。自宅にあればすぐに確認することができます。外付けのハードディスクのようなイメー

ジですね。この文章もそうして確認しながら書いています。

ただ、最近では、読後に「これは再読したくなりそうな本かどうか」を考え、そうでないと思ったら捨てるようにしています。就職してからは通勤時間が短くなり、その短くなった通勤時間の間も最近ではスマートフォンを眺めることが多くなりました。また小説を購入することが少なくなり、読んでも半数は捨ててしまうので、小説は溜まりにくくなりました。

就職してから増えたのは専門書です。特に、以前他大学の教員をしていた時には研究室に本棚がたくさんあったのでかなり買い込みました。これらも大学から元の職場に戻るときに自宅に送り、そのまま段ボールの中で眠っています。現在の研究室では蔵書を増やさないようにしようと心に誓っています。

最近、電子書籍が流行ってきています。スペースをとらない点ではいいと思うのですが、紙の本を読むのと同じか、それ以上の体験をすることができるのでしょうか？これが3番目の謎です。

私自身はどうしても紙の本から離れられないでいます。音楽の世界では既にCDからダウンロードやストリーミングに聴き方が変わってしまったように、本の世界でもそのような時が近づいているのでしょうか？

最後に、一冊だけ本をお勧めしたいと思います。塩野七生『海の都の物語』です。この本はベニス（ヴェネツィア）の繁栄の秘密について書かれた本です。ベニスはイタリア半島の根元のアドリア海に面した干潟に浮かぶこぢんまりとした島なのですが、800年にフランク王国の攻撃を退けてから1797年にナポレオンに滅ぼされるまで約1000年にわたって繁栄し続けました。日本でいえば平安時代から江戸時代の半ばくらいまでのとても長い時間です。小さな島なので大した産業はなく、交易で繁栄しました。王様をもつこともなく、共和制を敷いて貴族と一般の人々が力を合わせ繁栄し続けたのです。

日本はそれよりは大きい島国だとは言っても大した資源はなく、豊富なのは人くらい。その観点から、ベニスが1000年も繁栄を続けることができた秘密を知ることが日本にとってとても参考になると思います。日本は開国してからまだ150年くらいしか経っていません。これから数百年の繁栄を続けるにはどうしたらよいか、この本の中にヒントが隠されていると思います。

日本大学経済学部教員著作リスト

	著者名	書名	出版社	請求記号	配架場所	ID番号
(あ行)	西村清彦編；浅田義久 [ほか著]	不動産市場の経済分析：情報・税制・ 都市計画と地価	日本経済新聞社	673.99 N 84	5F	1021627
	山崎福寿, 浅田義久編著	都市再生の経済分析	東洋経済新報社	318.7 Y 48	5F	1030769
	山崎福寿, 浅田義久著	都市経済学	日本評論社	318.7 Y 48	5F	1100929
	山崎福寿, 浅田義久著	都市再生の経済分析	東洋経済新報社	318.7 Y 48	5F	1030769
	石川恵子著	*平成29年度 経済学部出版助成 地方自治体の内部統制：少子高齢化と 新たなリスクへの対応	中央経済社	318.7 I 76	5F	1171220
	石川恵子著	地方自治体の業績監査	中央経済社	349.38 I 76	5F	1110248
	本多光雄 [ほか] 著 (井 尻直彦, 呉 逸良著)	産業集積と新しい国際分業：グローバ ル化が進む中国経済の新たな分析視点	文眞堂	辻 忠博 2007 指定図書	5F	1107393
	H. A. クレグ著；牧野 富夫 [ほか] 訳 (木暮雅 夫, 岩出博訳)	イギリス労使関係制度の発展	ミネルヴァ書房	366.5 C 77a	B2書庫	0105433
	岩間秀幸著	ソクラテス研究：ソクラテスの提出し た知の整理による、「徳は知である」 と自己知の新解釈	コスモヒルズ	岩間秀幸 2001 指定図書	5F	1018362
	池本修一著	*平成26年度経済学部出版助成 チェコの体制転換プロセスと直接投資	文眞堂	332.348 I 33	5F	1141096
	池本修一, 松澤祐介[著]	チェコ・スロバキア経済図説	東洋書店	池本修一 2015 指定図書	5F	1157018
	池本修一, 田中宏編著.	欧州新興市場国への日系企業の進出： 中欧・ロシアの現場から	文眞堂	338.923 I 33	5F	1150184
	池本修一, 岩崎一郎, 杉 浦史和編著	グローバリゼーションと体制移行の経 済学	文眞堂	池本修一 2011 指定図書	5F	1117070
	池本修一著	体制移行プロセスとチェコ経済	梓出版社	332.348 I 33	B2書庫	1012111
	江上哲著	ブランド戦略から学ぶマーケティング ：消費者の視点から企業戦略を知る	ミネルヴァ書房	675 E 28	5F	1122068
	江上哲著	NPOと公共サービス：政府と民間の パートナーシップ	ミネルヴァ書房	335.89 Sa 53	5F	1080321
	阿部真也 [ほか] 編著 (江上哲著)	流通経済から見る現代：消費生活者本 位の流通機構	ミネルヴァ書房	675.4 A 12	5F	1030702
	Naohiro Ogawa, Iqbal H. Shah, editors	Low fertility and reproductive health in East Asia	Springer	334.32 O 24	5F	2145001
	edited by Robert Clark, Naohiro Ogawa, Andrew Mason	Population aging, intergenerational transfers and the macroeconomy	E. Elgar	334.3 C 74	B2書庫	2071292

	著者名	書名	出版社	請求記号	配架場所	ID番号
(あ行)	大澤秀雄著	新・基礎から学ぶ統計学	粹出版社	417 0 74	5F	1150488
	大澤秀雄著	応用解析と情報数学	NetLibrary	電子書籍(インターネット版)		
	大澤秀雄著	応用解析と情報数学	東京電機大学出版局	大澤秀雄 2008 指定図書	5F	1017334
	大場允晶, 藤川裕晃編著	経営情報システムとビジネスプロセス管理	創成社	大場允晶 2012 指定図書	5F	1127085
	大場允晶, 藤川裕晃編著	生産マネジメント概論	文眞堂	大場允晶 2016 指定図書	5F	1167455
	大森信著	掃除と経営 : 歴史と理論から「効用」を読み解く	光文社	336.47 0 63	5F	1177528
	大森信編著 ; 竹村正明 [ほか] 著	戦略は実践に従う : 日本企業の strategy as practice	同文館出版	336.1 0 63	5F	1170914
	大森信著	トイレ掃除の経営学 : strategy as practiceアプローチからの研究	白桃書房	336.47 0 63	5F	1150470
	渡辺秀樹, 上林千恵子, 小笠原祐子執筆	働き続ける女性たち : 新しい企業と女性のためのジェンダー・フリー読本	東京女性財団	366.3 To 46	5F	0042757
	Yuko Ogasawara	Office ladies and salaried men : power, gender, and work in Japanese companies	University of California Press	366.31 0 22	B2書庫	2080621
	小笠原祐子著	OLたちの「レジスタンス」 : サラリーマンとOLのパワーゲーム	中央公論社	366.38 0 22	5F	0134787
	岡本奈穂子著	多文化社会を考える : ドイツの変容と日本の未来	川崎市生涯学習財団かわさき市民アカデミー出版部	334.434 0 42	5F	1117188
	アン・0・クルーガー著 ; 星野岳穂, 中村洋, 小滝一彦訳	アメリカ通商政策と自由貿易体制	東洋経済新報社	678.253 Kr 8	B2書庫	0053088
	小塚治宣著	ドイツ社会保障の潮流	朝文社	364.0234 0 65	B2書庫	1071664
小塚治宣著	社会保障の源流 : ドイツ社会保障の形成過程	朝文社	小塚治宣 2011 指定図書	5F	1041526	
(か行)	マイケル・イグナティエフ著 ; 添谷育志, 金田耕一訳	火と灰 : アマチュア政治家の成功と失敗	風行社	289.3 I 24	5F	1150244
	ロメオ・ダレール著 ; 金田耕一訳	なぜ、世界はルワンダを救えなかったのか : PKO司令官の手記	風行社	316.84555 D 32	5F	1121527
	金谷貞男著	演習マクロ経済学	新世社	331 Ka 47	5F	1101164
	金谷貞男, 吉田真理子共著	グラフィックミクロ経済学	新世社	331 Ka 47 A	5F	1081330
	金谷貞男著	貨幣経済学	新世社	337.1 Ka 47	B2書庫	0024245

	著者名	書名	出版社	請求記号	配架場所	ID番号
(か行)	上村能弘著	合衆国の棉花金融史研究	風間書房	338.253 Ka 37	B2書庫	0050788
	川出真清著	数字か?直感か?迷ったら統計学を使え!	廣済堂出版	417 Ka 92	5F	1135037
	川出真清著	コンパクト統計学	新世社	350.1 Ka 92	5F	1117058
	伊藤隆敏, 西村和雄編 (川出真清著)	教育改革の経済学	日本経済新聞社	川崎 茂 2016 指定図書	5F	1031690
	浜野潔著 ; 井奥成彦著 :(岸田真著)	日本経済史1600-2015 : 歴史に読む現代	慶応義塾大学出版会	岸田 真 2017 指定図書	5F	1177015
	本多光雄 [ほか] 著 (呉逸良著)	産業集積と新しい国際分業 : グローバル化が進む中国経済の新たな分析視点	文眞堂	辻 忠博 2007 指定図書	5F	1107393
	H.A. クレグ著 ; 牧野富夫 [ほか] 訳 (木暮雅夫, 岩出博訳)	イギリス労使関係制度の発展	ミネルヴァ書房	366.5 C 77a	B2書庫	0105433
	小巻泰之著	**第56回(2016年)エコノミスト賞受賞** 経済データと政策決定 : 速報値と確定値の間の不確実性を読み解く	日本経済新聞出版社	331.19 Ko 58	5F	1150393
	地主敏樹, 小巻泰之, 奥山英司著	世界金融危機と欧米主要中央銀行 : リアルタイム・データと公表文書による分析	晃洋書房	338.3 J 52	5F	1150480
	竹田陽介, 小巻泰之著	マクロ経済学をつかむ	有斐閣	331 Ta 59	5F	1070273
矢部洋三, 木暮雅夫編	日本カメラ産業の変貌とダイナミズム	日本経済評論社	535.85 Y 11	5F	1065041	
(さ行)	坂野徹, 竹沢泰子編	科学と社会の知 : knowledge	東京大学出版会	316.8 Ta 69 2	5F	1170338
	坂野徹編著	帝国を調べる : 植民地フィールドワークの科学史	勁草書房	220 Sa 34	5F	1151054
	村上陽一郎 [ほか] 著	村上陽一郎の科学論 : 批判と応答	新曜社	404 Mu 43	5F	1170336
	坂野徹著	フィールドワークの戦後史 : 宮本常一と九学会連合	吉川弘文館	坂野 徹 2013 指定図書	5F	1121199
	坂野徹, 慎蒼健編著	帝国の視角/死角 : 「昭和期」日本の知とメディア	青弓社	坂野 徹 2011 指定図書	5F	1117147
	酒巻俊之著	会社法基礎講義	法律文化社	酒巻俊之 2016 指定図書	5F	1150471
	清水純著	画像が語る台湾原住民の歴史と文化 : 烏居龍蔵・浅井恵倫撮影写真の探究	風響社	389.224 Sh 49	5F	1131349
	西村政人, 山内啓介, 鈴木基子著	北京語生活場面事典	三修社	827.8 N 84	5F	1021525

	著者名	書名	出版社	請求記号	配架場所	ID番号
(さ行)	栢原学著	ソ連工業の研究：長期生産指数推計の試み	御茶の水書房	332.38 Su 49.1	5F	1122070
	カール・ポラニー著；野口建彦，栢原学 訳	「新訳」大転換：市場社会の形成と崩壊	東洋経済新報社	332.06 P 76	5F	1095113
	藤野彰，曾根康雄編著	現代中国を知るための44章	明石書店	曾根康雄 2017 指定図書	5F	1177059
	呉敬璉著；バリー・ノートン編・解説；曾根康雄監訳	呉敬璉、中国経済改革への道	NTT出版	曾根康雄 2017 指定図書	5F	1150245
(た行)	井手秀樹，鳥居昭夫，竹中康治著	入門・産業組織 = Introduction to industrial organization	有斐閣	335.3 I 19	5F	1101017
	竹中康治編著	都市ガス産業の総合分析	NTT出版	575.34 Ta 64	5F	1130461
	立川正三郎著	法人税法の基礎と理論	法令出版	立川正三郎 2014 指定図書	5F	1147055
	アンドルー・サンダース著；田村真奈美訳	チャールズ・ディケンズ	彩流社	田村真奈美 2017 指定図書	5F	1177016
	edited by Tadahiro Tsuji, Yiliang Wu and Yugun Riku	Rebirth of the Silk Road and a new era for Eurasia	Yachiyo Shuppan	332.296 Ts 41	5F	2155001
	塚本隆夫ほか著	経済学概論	桜門書房	331 Ts 54	B2書庫	1037146
	ジョン・S.ギャムズ著；佐々木晃監訳；佐々野謙治，塚本隆夫訳	需給を超えて：制度派経済学の再評価	多賀出版	331.39 G 18	B2書庫	0006029
	手塚広一郎編著；加藤一誠編著	交通インフラの多様性	日本評論社	681.4 Te 95	5F	1161032
	加藤一誠，手塚広一郎編著	交通インフラ・ファイナンス	成山堂書店	加藤一誠 2014 指定図書	5F	1147064
	水島治 [ほか] 著 (手塚広一郎著)	高校生のための大学の授業：学問からみる企業のかたち	弘文堂	335.1 Mi 96	5F	1130477
	徳永志織著	だいたい楽しいスペイン語入門：使える文法	三修社	865 To 41 徳永志織 2015 指定図書	5F	1150396
徳永志織著	快速マスタースペイン語：これ一冊で!基礎を固める	三修社	860 To 41 徳永志織 2015 指定図書	5F	1150473	
(な行)	中川雅之著	**2005年都市住宅学会賞受賞** 都市住宅政策の経済分析：都市の差別・リスクに関する実験・実証的アプローチ	日本評論社	365.31 N51	5F	1031085
	齊藤誠編 (中川雅之著)	震災と経済 (大震災に学ぶ社会科学第4巻)	東洋経済新報社	369.31 Mu 48 4	5F	1160659
	中嶋康裕著	うれし、たのし、ウミウシ。	岩波書店	481.72 N 42 学生選書17	1F ラーニング グcommons	1170741

	著者名	書名	出版社	請求記号	配架場所	ID番号
(な行)	W. ヴィックラー, U. ザイプト著 ; 福井康雄, 中嶋康裕訳	男と女 : 性の進化史	産業図書	467.3 W 71	B2書庫	1037240
	ロバート・トリヴァース [著] ; 中嶋康裕, 福井康雄, 原田泰志訳	生物の社会進化	産業図書	481.71 Tr 5	5F	1050434
	ハーバート・A・サイモン著 ; 二村敏子 [ほか] 訳	経営行動 : 経営組織における意思決定過程の研究	ダイヤモンド社	335.94 Si 6 B	5F	1095001
	根村直美著	*平成28年度経済学部出版助成 ポストヒューマン・エシックス序説 : サイバー・カルチャーの身体を問う	青弓社	114.2 N 64	5F	1161030
	根村直美著	現代倫理学の挑戦 : 相互尊重を実現するための自己決定とジェンダー	学術出版会	根村直美 2014 指定図書	5F	1147082
	根村直美著	揺らぐ性・変わる医療 : ケアとセクシュアリティを読み直す	明石書店	498 N 64	5F	1087228
	寺西俊一, 井上真, 山下英俊編 (根本志保子著)	自立と連携の農村再生論	東京大学出版会	611.151 Te 5	5F	1150468
(は行)	廣野桂子著	住宅の質に関する経済分析 : 政策の理論と実証	多賀出版	365.31 H 71	5F	1150474
	藤井盛夫編・訳	EU経済論資料集	[桜門書房]	333.6 F 57	5F	1017148
	伏見俊行編著	アジア税の基礎知識 : アジアで貢献する日本企業	税務研究会出版局	345.22 F 96	5F	1165004
	伏見俊行, 馬欣欣共著	「税と社会貢献」入門 : 税の役割とあり方を考える	ぎょうせい	伏見俊行 2016 指定図書	5F	1167129
	伏見俊行著	それからの特攻の母	大蔵財務協会	伏見俊行 2013 指定図書	5F	1135036
	新田忠誓 [ほか] 著 (古庄修著)	エッセンス簿記会計	森山書店	336.91 N 88	5F	1140409
	古庄修著	統合財務報告制度の形成	中央経済社	336.92 F 94	5F	1111737
	Elhanan Helpman [著] ; 本多光雄 [ほか] 訳	グローバル貿易の針路をよむ	文眞堂	本多光雄 2017 指定図書	5F	1150479
(ま行)	須田宏, 竹中淑子共編 ; 松岡勝男著	2次元・3次元の線形代数	培風館	松岡勝男 2010 指定図書	5F	0139963
	三井泉編著	アジア企業の経営理念 : 生成・伝播・継承のダイナミズム	文眞堂	336.12 Mi 64	5F	1125068
	三井泉編著	フォレット (経営学史叢書 : 経営学史学会創立20周年記念 ; 4)	文眞堂	335.08 Ke 22 4	5F	1125059
	三井泉著	社会的ネットワーク論の源流 : M.P. フォレットの思想	文眞堂	三井 泉 2009-1 指定図書	5F	1097857

	著者名	書名	出版社	請求記号	配架場所	ID番号
(ま行)	住原則也, 三井泉, 渡邊祐介編	経営理念 : 継承と伝播の経営人類学的研究	PHP研究所	三井 泉 2010 指定図書	5F	1085034
	三井秀俊著	*平成26年経済学部出版助成 ARCH型モデルによる金融資産分析 = ARCH-type models for financial applications	税務経理協会	338.01 Mi 64	5F	1141092
	三井秀俊著	オプション価格の計量分析	税務経理協会	338.01 Mi 64	5F	1033057
	中尾茂夫 [ほか] 著 (南雅一郎著)	日本経済再生の条件	筑摩書房	332.107 N 41	5F	1031041
	労働運動総合研究所編集 (村上英吾執筆)	デフレ不況脱却の賃金政策	新日本出版社	366.4 R 59	5F	1150483
	牧野富夫, 村上英吾編著	格差と貧困がわかる20講	明石書店	361.8 Ma 35	5F	1088458
	原伸子編 (村上英吾著)	市場とジェンダー : 理論・実証・文化	法政大学出版局	366.38 H 31	5F	1051530
	大塚啓二郎, 劉徳強, 村上直樹著	**第38回(1995) 日経・経済図書文化賞受賞** 中国のミクロ経済改革 : 企業と市場の 数量分析	日本経済新聞社	332.22 O 88.1	5F	0081768
	村田直樹著	企業会計の基礎理論	同文館出版	336.9 Mu 59	5F	1092265
	村田直樹, 竹中徹, 森口毅彦編著	複式簿記の理論と計算	創成社	村田直樹 2012 指定図書	5F	1127011
	高栢真一編著 ; 村田直樹 [ほか] 著	管理会計入門ゼミナール	創成社	336.84 Ko 79	5F	1120583
	村田直樹, 相川奈美編著	会計による経営管理	税務経理協会	村田直樹 2012 指定図書	5F	1127086
	千葉準一, 中野常男責任編集 ; 片岡泰彦 [ほか] 執筆 (村田直樹著)	会計と会計学の歴史 (体系現代会計学 / 斎藤静樹 [ほか] 総編集 ; 第8巻)	中央経済社	村田直樹 2012 指定図書	5F	1120168
	村田直樹著	企業会計の基礎理論	同文館出版	村田直樹 2011 指定図書	5F	1150475
	村田直樹著	新しい企業会計の内容と形式	創成社	村田直樹 2011 指定図書	5F	1081093
	村田直樹, 春日部光紀編著	企業会計の歴史的諸相 : 近代会計の萌芽から現代会計へ	創成社	村田直樹 2012 指定図書	5F	1051787
	村田直樹, 竹田範義, 工藤久嗣編著	複式簿記の基礎	税務経理協会	336.91 Mu 59	5F	1038280
	村田直樹, 高栢真一, 浦田隆広編著	管理会計の道標 : 原価管理会計から現代管理会計へ	税務経理協会	336.84 Mu 59	5F	1040839

	著者名	書名	出版社	請求記号	配架場所	ID番号
(ま行)	沼恵一編著；村田直樹， 工藤久嗣，高津俊和著	財務会計を学ぶ	創成社	336.9 N 99	5F	1067524
	村田直樹編著；竹田範義 [ほか] 著	会計の諸機能：企業会計の史的展開	創成社	村田直樹 2011 指定図書	5F	1020378
	村田直樹著	鉄道会計発達史論	日本経済評論社	村田直樹 2011 指定図書	5F	1012301
	村田直樹[ほか]著	品質原価計算論：その生成と展開	多賀出版	村田直樹 2012 指定図書	5F	0027423
	村田直樹著	近代イギリス会計史研究：運河・鉄道 会計史	晃洋書房	村田直樹 2011 指定図書	5F	0054556
(や行)	矢部洋三編；山下雄司執 筆	日本デジタルカメラ産業の生成と発展： グローバル化の展開の中で	日本経済評論社	535.85 Y 11	5F	1150397
	山崎福寿著	日本の都市のなにが問題か	NTT出版	318.7 Y 48	5F	1150476
	山崎福寿著	経済学で読み解く土地・住宅問題：都 市再生はこう進めよ	東洋経済新報社	365.3 Y 48	5F	1020150
	山崎福寿，浅田義久編著	都市再生の経済分析	東洋経済新報社	318.7 Y 48	5F	1030769
	川西諭，山崎福寿著	金融のエッセンス = The essence of banking & finance	有斐閣	338 Ka 96	5F	1131330
	山崎福壽	土地と住宅市場の経済分析	東京大学出版会	365.3 Y48	5F	1992388
	山崎福寿，浅田義久著	都市経済学	日本評論社	318.7 Y 48	5F	1100929
	山崎福寿，浅田義久著	都市再生の経済分析	東洋経済新報社	318.7 Y 48	5F	1030769
	吉田博之著	景気循環の理論：非線型動学アプロ ーチ	名古屋大学出版会	337.9 Y 86	5F	1032597
	米澤聡士著	ワークブック国際ビジネス	文真堂	335.5 Y 84	5F	1150477
(わ行)	渡邊修士，川出真清編	大学と経済学部の学びの技法	新世社	川出真清 2014 指定図書	5F	1147053

2017年（前期）のお知らせ まとめ

今年4月3日にオープンしてから、半年が経過しました。
みなさまにご支持いただけるよう、これからもスタッフ一同がんばります。どうぞよろしく申し上げます。

○学生選書図書が利用できます

ラーニングコモンズ1F に7月に実施した学生選書が並びました。
人気作家の小説や、真央ちゃん写真集、また本学の先生方の著作も入っています。ぜひ手にとって、読んでみてください。また昨年度実施分も利用できますので、ご利用ください。

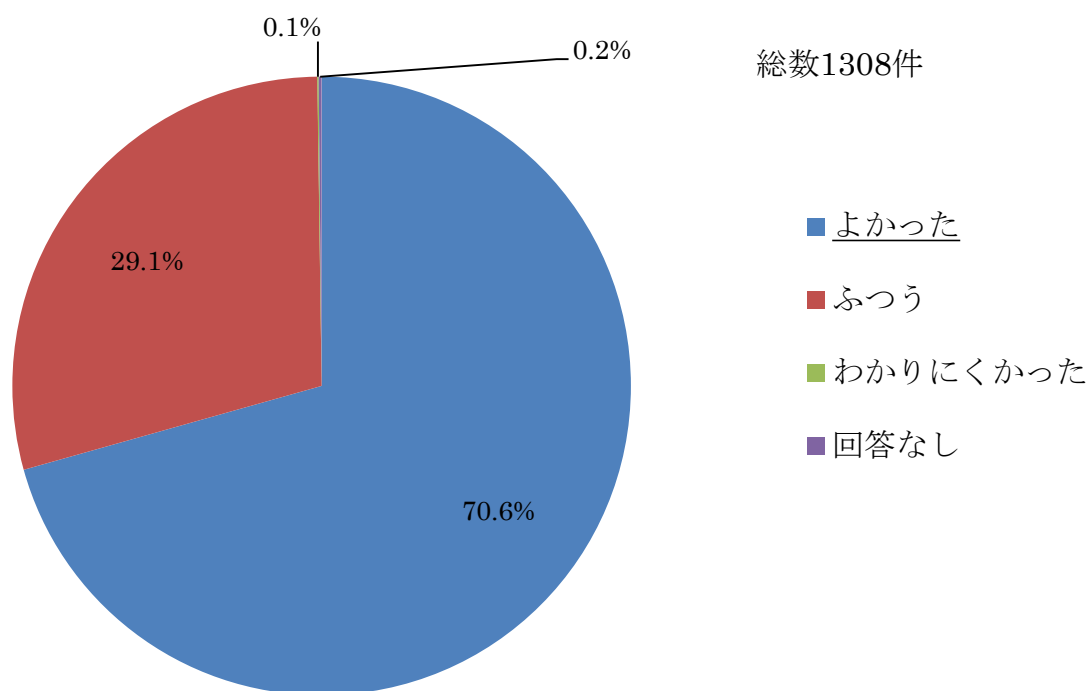
○教員著作単行書リスト

夏のオープンキャンパスに企画して好評を得ました経済学部先生方の著作展示内容を更新しリストにしました。先生方の著作タイトルをぜひご覧ください。

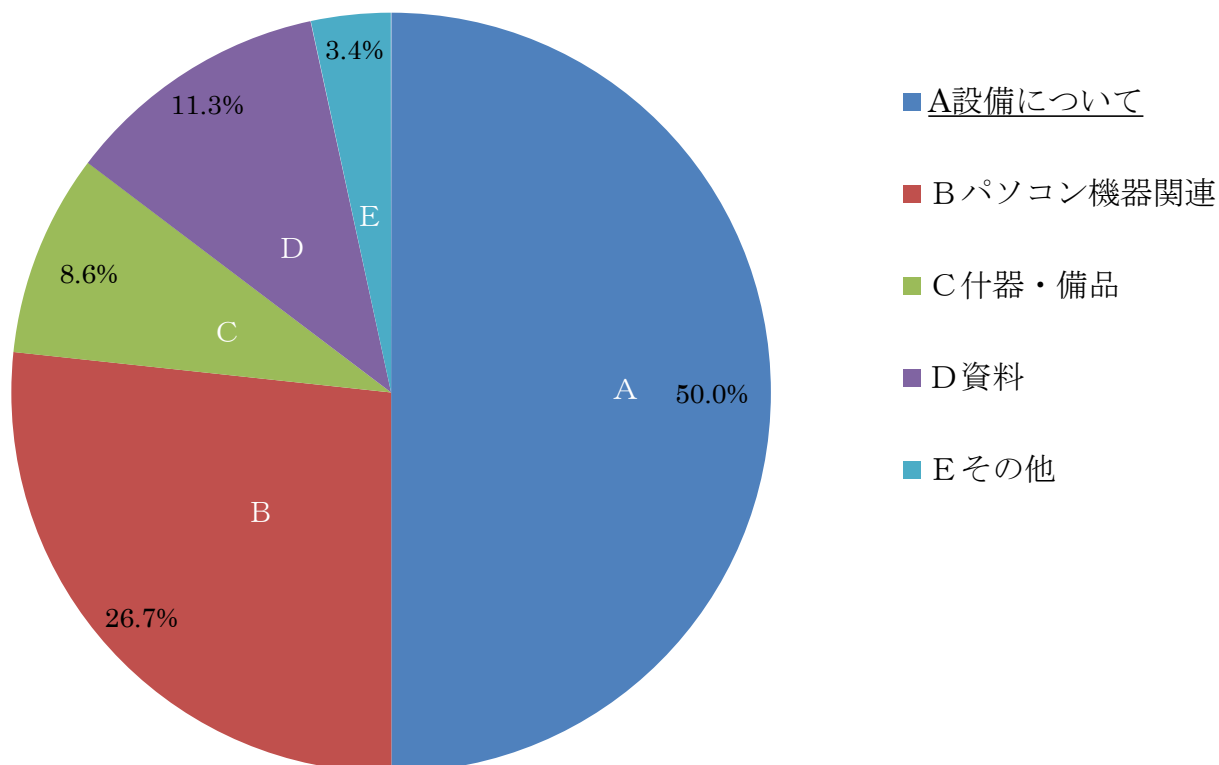
○図書館の利用データ

入館者総数 90,000人（10/30現在）
貸出冊数 7,000冊（10/30現在）

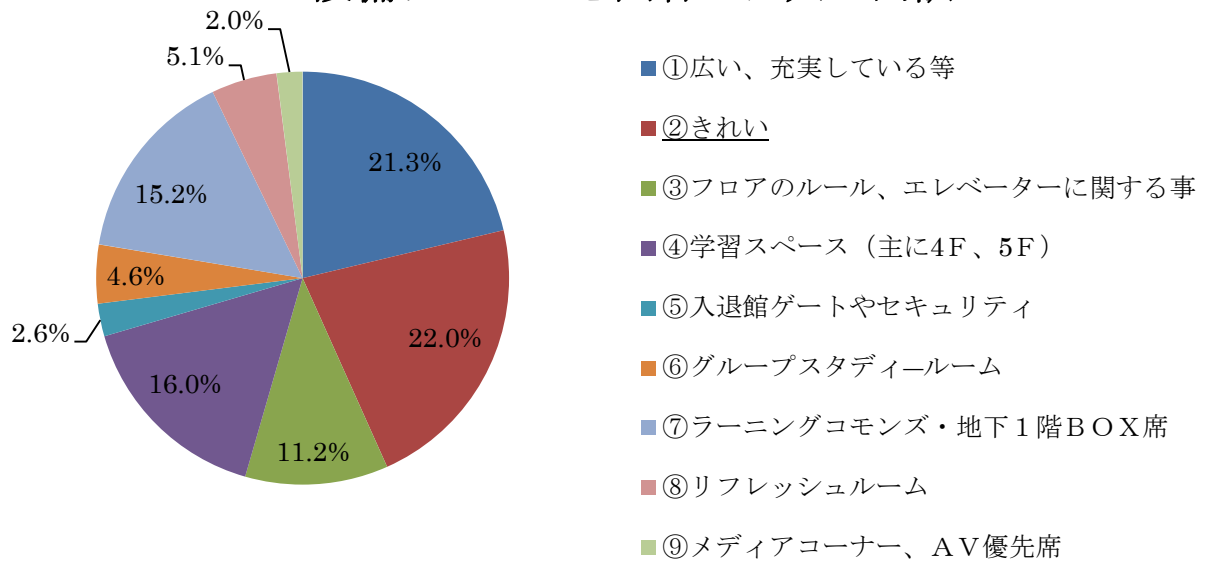
1. 館内見学について



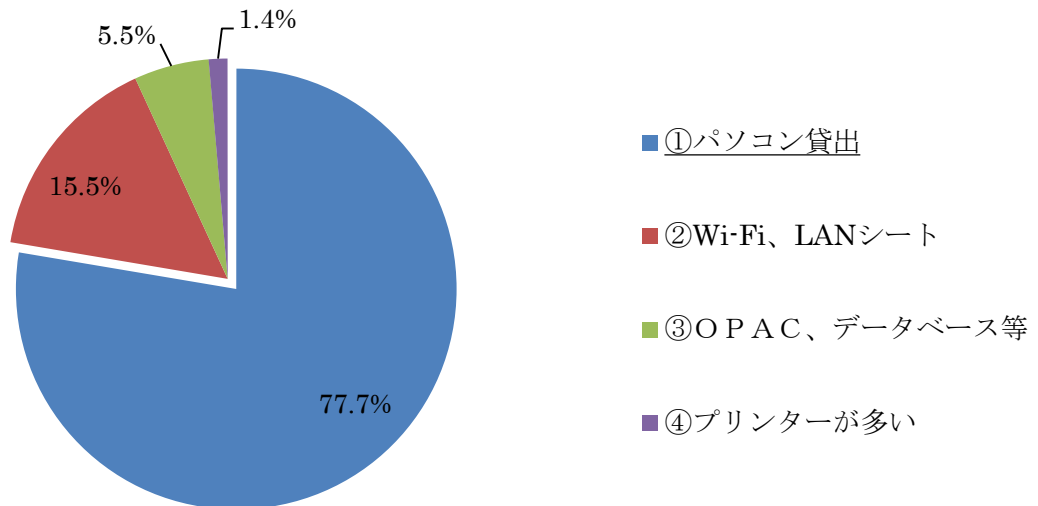
2. 館内見学で記憶に残ったこと



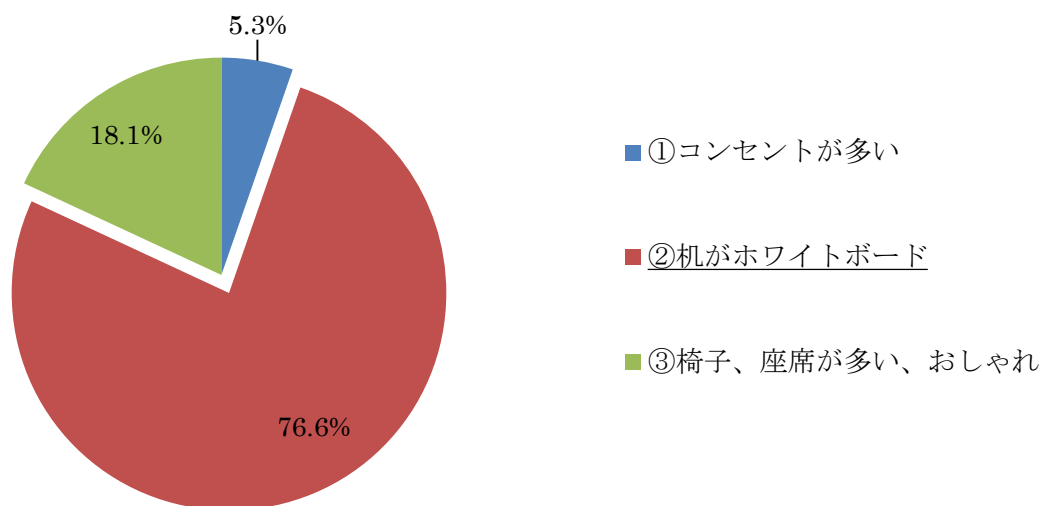
A設備についてと回答した人の内訳



Bパソコン機器関連についてと回答した人の内訳

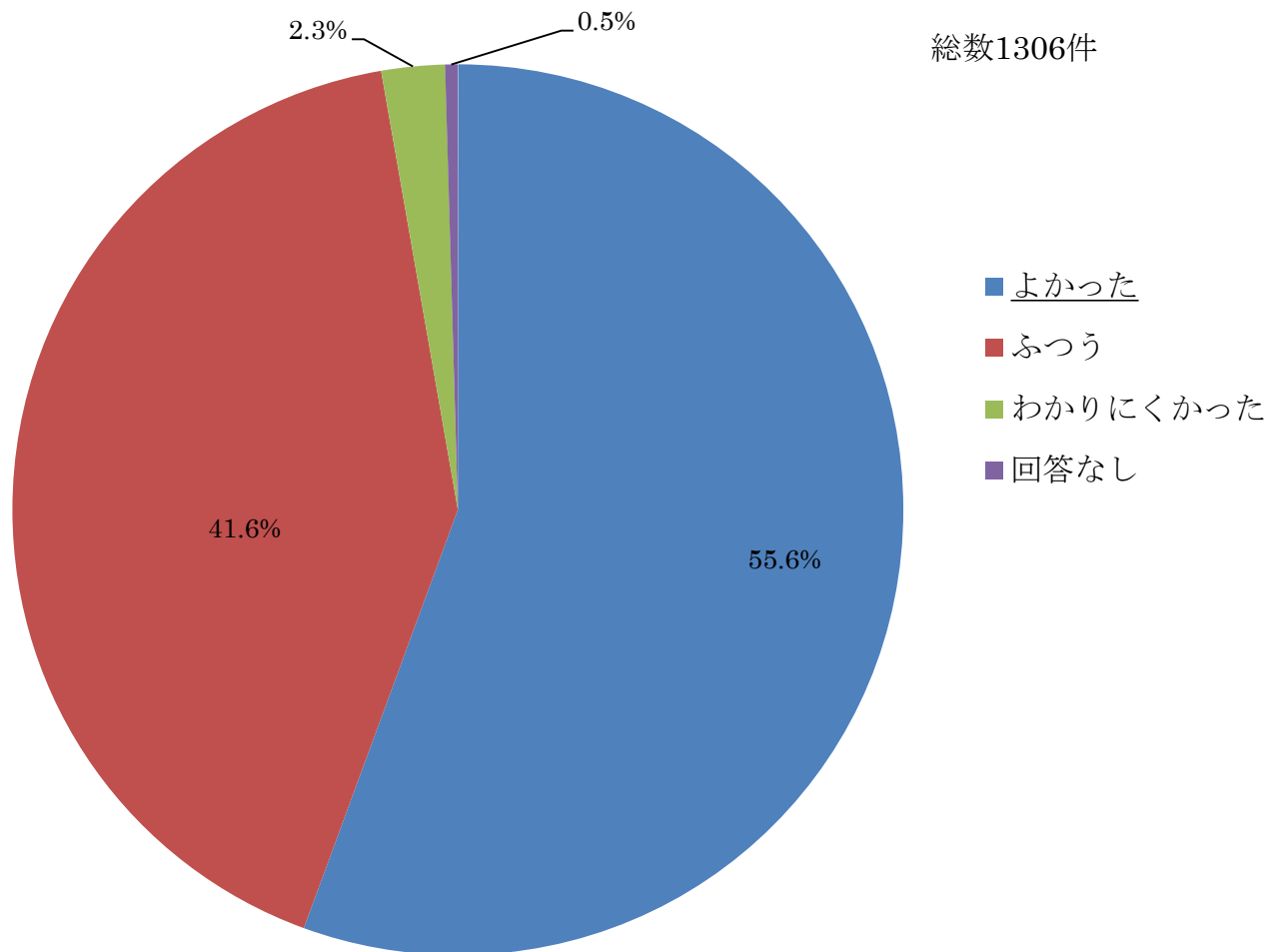


C什器・備品についてと回答した人の内訳

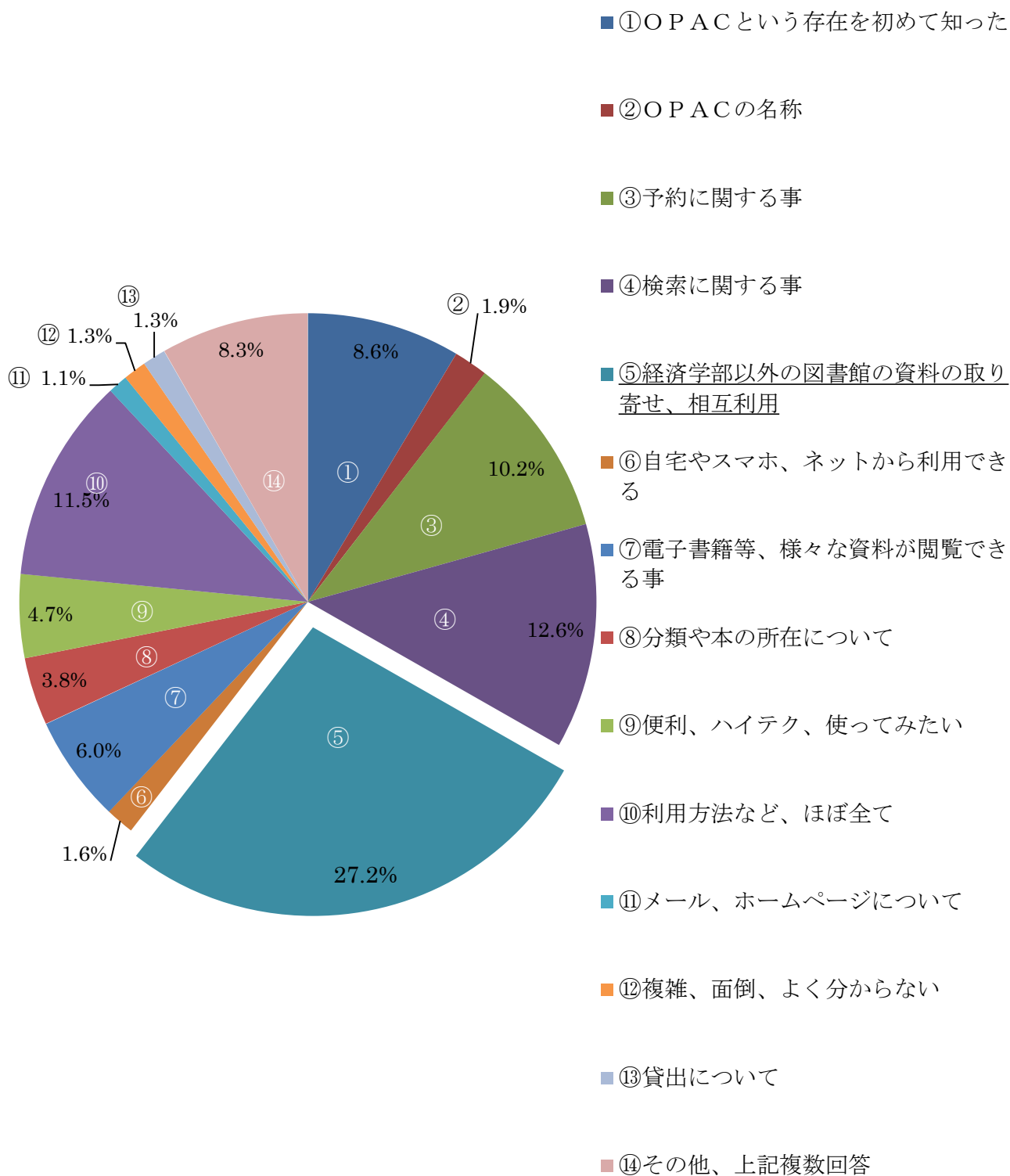


3. OPACの説明について

総数1306件



4. OPAC説明で初めて知ったこと



コンテンツ紹介

○今年度のデータベース ニューフェイス

- 1 デジタルアーカイブズ「東洋経済新報」「週刊ダイヤモンド」
『東洋経済新報』創刊（明治 28 年）から 2000 年までの記事全文，及び『週刊ダイヤモンド』創刊（大正 2 年）から 2000 年までの記事全文に，各種検索機能が追加されています。
既存の『東洋経済デジタルコンテンツライブラリー』は最新号からの利用が可能です。
- 2 デジタル版 渋沢栄一伝記資料
「渋沢栄一伝記資料」（渋沢青淵記念財団竜門社編、渋沢栄一伝記資料刊行会刊）は本編全 58 巻、別巻全 10 巻からなります。デジタル版の公開により検索機能も付加されました。冊子体の所蔵は法学部，文理学部，商学部にあります。現在本編第 1 巻から第 58 巻までが，デジタル化されています。
- 3 EEBO : Early English Books Online (イーボ)
イギリスを始めヨーロッパやアメリカなどの 15 世紀から 18 世紀の間に印刷された英語による古典的書物のデジタル集成であり，検索機能を持った閲覧データベースです。世界各国の 200 以上の図書館の協力を得て作られています。
- 4 Financial Times 『Financial Times』のデジタル版
アカウントの作成によりスマートフォンなどの端末でも利用できます。ただし，登録メールアドレスは学内アドレス限定です。図書館事務課に申請書の提出をお願いします。